

けがから回復し元気に鳥籠を飛び出すヤンバルクイナ=9日、国頭村安田（環境省やんばる野生生物保護センター提供）



クイナ回復 森へ放す

読んで広がる NIE

カラスに襲われた幼鳥

【国頭】NPの影もなかつたように元気になったクイナは鳥籠から放たれると、やんばるの木々の間を駆け抜けていった。8日、同村安田の県家畜改良センター内の牧草地で、ハシブトカラスの群れに襲われたクイナの雌が、発見し救助。連絡を受けた環境省やんばる野生生物保護センターが同病院まで搬送した。クイナは2例目という。関係者が見守る中、けが

で搬送した。搬送時のクイナは全身傷だらけで、特に頭部の出血が激しく、まぶたを閉じることができない状態で、集中治療室で治療された。救助時270グラムだった体重は一時246グラムまで低下したが、治療や流動食で311グラムまで増え、成鳥に近い状態まで成長した。放鳥に立ち会った長嶺理事長は「森で元気に暮らしてほしい」と喜んだ。

（長嶺隆理）は9日、カラスの群れに襲われて瀕死の重傷を負い、同病院で治療・保護していたヤンバルクイナの幼鳥を国頭村安田の森に放した。カラスに襲われたクイナの放鳥は2例目という。関係者が見守る中、けが

の影もなかつたように元気になったクイナは鳥籠から放たれると、やんばるの木々の間を駆け抜けていった。8日、同村安田の県家畜改良センター内の牧草地で、ハシブトカラスの群れに襲われたクイナの雌が、発見し救助。連絡を受けた環境省やんばる野生生物保護センターが同病院まで搬送した。クイナは2例目という。関係者が見守る中、けが